

書名		技術・家庭（技術分野）	726 開隆堂
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を豊富に設定し、その活動を通して、生徒が自立して主体的な生活を営むために必要とされる基礎的・基本的な知識および技術を習得できるような構成になっている。</p> <p>○生活上において生じる課題に対して、自分なりに判断をし、工夫・創造して課題を解決することができるようになっている。</p> <p>○社会や環境と技術とのかかわりについて、技術の在り方や活用の仕方などに対して客観的に判断・評価し、主体的に活用できるようになっている。</p>		
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○本文の記述は、基礎・基本と参考・発展等の区分を明確にしている。学習内容の精選と重点化が図られており、理解に必要な内容を的確に記述するようになっている。文体も敬体表記で親しみやすい。</p> <p>○分かりやすい図版・イラスト写真を多数掲載している。描写等が分かりやすく基本となるものを中心に上げるなど工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力・判断力・表現力等を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○各学習の冒頭に「学習の目標」を記述し、学習の節目には「ふり返し」を設けることにより、反省・自己評価をして学習内容の定着を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○各項目のはじめに、考えてみよう・調べてみよう等の思考を深める工夫がある。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○学習の意欲づけや動機づけとして、身近な場面から学習の導入、動機付けがされるなど見通しを持って取り組むことができるようになっている。</p> <p>○「実習例は」基本となるものを中心にし、参考・応用的なものまで多様な例を取り上げ作品作りの時に参考になるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b></p> <p>○各内容の実習例について、工夫し、創造する態度を育めるように、工夫の観点を掲載している。</p> <p>○日本の伝統的な技術について取り上げ、先人への敬意、日本の伝統と文化のすばらしさが理解できるようになっている。</p> <p><b>&lt;技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○各内容の最後および全体の学習の最後に、技術を評価し活用できる能力と態度が育成でき学習項目を設定することで、主体的に社会に参画し、その発展に寄与できる態度を養えるようにしている。</p> <p>○環境を保全する技術、自然と共生する技術の考え方を示し、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしている。</p>	
	資料	<p>○レイアウトやデザイン、記述のしかた等、見やすく、わかりやすく、使いやすく学習意欲を高められるものになっている。</p> <p>○実践的・体験的な学習活動や実践例を掲載し、状況に応じた学習活動が選べるように工夫されている。</p> <p>○写真、イラストが効果的に配置されている。</p>	
	表記・表現	<p>○「安全」に関するマークを用いるなど、作業中の事故防止を重視した内容になっている。</p> <p>○四つの内容ごとに統一した配色になっていて、ページの下に豆知識を設け、便利な情報や面白情報などが効果的に入っている。</p>	
	総括	<p>○ページごとに考えが深められるように「参考」が設けられていて主体的に学習できるようになっている。</p> <p>○「ふり返し」の項目が用意され、思考を深められるようになっている。</p> <p>○感謝の気持ち、自分や他者の尊重、男女の平等、家庭や地域への協力などの態度が育めるようになっている。</p>	

項目	書名 <b>新技術・家庭 技術分野</b> <span style="float: right;">06 教育図書</span>	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びたい」「つくりたい」と思うような製作題材を多く取り入れ、学習内容に関心をもって積極的に関わられるように工夫されている。</li> <li>○生徒が実際に体を動かしたり、話し合ったり、考えたりしながら、実践的・体験的な活動を通して学習に取り組めるようになっている。</li> <li>○環境や伝統、最先端で構成されている技術等を取り上げ、教科書を見ながら実際につくることができるよう、すべての製作工程をていねいに説明されている。</li> </ul>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎技能・知識の欄を設け、製作題材の写真を大きく載せ、基本となる技術の習得や機器の安全な利用方法を学べるように配慮されている。</li> <li>○実習題材を多く掲載されていて、実際に製作ができるようになっている。特に「材料と加工に関する技術」「生物育成に関する技術」は題材が豊富で興味を引くものが多い。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力・判断力・表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実際に体を動かしたり、話し合ったり、考えたりしながら、実践的・体験的な活動を通じた学習ができるようになっている。実習題材は、製作がしやすいよう写真で表現されている。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○写真や図版を多く用いられていて、教科書を見ながら実際につくることができるよう、すべての製作工程をていねいにわかりやすく表現されている。</li> <li>○巻末資料は、4領域の学習内容で詳しく触れていないが、学習上でも日常的にも参考になる内容を一覧で掲載している。</li> </ul> <p><b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○植物・作物に関する実習題材を多く掲載し、学校の環境に適した題材を選べるよう配慮されている。</li> <li>○学習のポイントごとに「実験」や「実習」といった項目を立てられていて、体験的な学習ができるよう配慮されている。</li> </ul> <p><b>&lt;技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○製作題材以外にも、「やってみよう」「考えよう」「調べよう」など多くの実験や実習を取り入れ主体的に取り組めるようになっている。</li> <li>○自動ドアや洗濯機といった身近な製品を取り上げることで、生徒が想像しやすいよう工夫されている。</li> </ul>
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○口絵のように大きなイラストから、各領域内での小さな写真・図版まで、中学生が読み取りやすいように工夫されている。</li> <li>○自動車の部品図、製品に使われる材料の例のように、たくさんの部品、材料からなっている等、分かりやすい写真表現になっている。</li> <li>○身のまわりにある製品を安全に使用するために、道具や機器につけられているマークの一例を載せるなど、発展した学習の一助となっている。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適度な余白を取り入れ、デザインを意識したページを取り入れるなど工夫されている。</li> <li>○安全な利用方法について学べるよう工夫、配慮されている。</li> <li>○巻末資料として、授業などで使えるよう参考資料が添付されている。デジタル用語が一覧となっていて分かりやすい。</li> </ul>
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作題材に「基礎技能」として、使用方法などが学べるように工夫されている。</li> <li>○学習のポイントごとに「実験」「実習」といった項目を立て、体験的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○各領域のおわりに、「まとめ」「章末問題」を設け、学習した内容をまとめることができ、振り返る学習を重視している。</li> </ul>	

教科（技術・家庭科）

項目	書名 新編 新しい技術・家庭科 技術分野 未来を創る Technology	724 東京書籍
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技術が身につくように考えられ、学習への興味・関心を高め、3年間の学習の見通しを持たせられるような構成になっている。</p> <p>○創意工夫して未来の生活を創造する力が身につくよう、普段の授業でできる評価・活用の能力を育てることができるようになっている。</p> <p>○社会の課題に関心を持ちやすいように、環境や伝統・文化、日本の技術などを取り上げ、工夫・創造することの大切さを伝える学習課題や実習例が引き出せるようにしている。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○各編章構成は、1章「知る」仕組みなどに関する知識を学ぶ。2章「作る」学びを生かして、ものづくりや育成を体験する。3章「つながる」技術を評価し、活用する能力を育てる。など、統一した形になっていて活用しやすい。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○問題解決の基本となる、計画、実行、評価・改善（PDCA サイクル）の流れを製作・育成の場面でも統一的に示していて課題意識をもって考えたり話し合ったりできる。</p> <p>○手順を写真で構成するなど、円滑に実習ができるよう配慮されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○学習への興味・関心を高め、3年間の学習の見通しが持たせられるようになっている。技術の大切さや、社会の中で求められる技術など具体的に示されている。</p> <p>○実習例では「問題の発見」を示し、作るきっかけとなる「問題」例を示して、実習を通して、問題解決ができるように配慮されている。</p> <p><b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b></p> <p>○工具の使用方法や作業手順などの基礎的な技能をまとめて掲載していて、必要なときに常に振り返ることができるようになっている。</p> <p>○学習を更に深め、科学的な根拠に基づいた理解ができるようダイナミックな写真で、興味・関心を高められるようになっている。</p> <p><b>&lt;技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○編末の「学習のまとめ」には「生活に生かそう」を設け、生徒が学習したことを自分自身の生活に生かせるようになっている。</p> <p>○普段の授業から少しずつ評価・活用を繰り返すことにより、技術を評価し活用するための学習活動ができるようになっている。</p>
	資料	<p>○「技術・家庭科の学習を生かす防災手帳」を設け、学習したことを生かした災害への備えや、防災・減災の技術を紹介している。「防災マーク」を付け、意識を高めるよう工夫されている。</p> <p>○「技術の匠」では、さまざまな職業で働く技術者などを紹介し、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに、勤労観、職業観の育成を目指している。</p>
	表記・表現	<p>○横の流れで統一させた実習例など、読みやすく、見て分かるように工夫されている。配色及びデザインが目に優しい色合いが使われている。</p> <p>○持続可能な社会の構築を目指して、環境と資源、暮らしの調和の視点から技術を考える内容を掲載している。また、学習のさまざまな場面で、技術と環境を結びつけて考えられるように、「環境マーク」が付けられている。</p>
	総括	<p>○基礎技能や実習例には、「ポイント」や「安全」を付し、製作・制作・育成の際に、基礎技能を安全・確実に習得し、活用できるように配列している。</p> <p>○さまざまな職業で働く技術者などを紹介し、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに、勤労観、職業観の育成を目指す工夫がある。</p> <p>○学習の目的をしっかりと理解するための「始めの活動」と「まとめの活動」を設けて、学習がより定着できるように配慮されている。</p>